

子ども条例を策定するためのアンケート 結果報告

平成23年8月6日

知立市福祉子ども部子ども課

1

1. 概要

(1) 調査目的

本調査は、子どもの権利や子ども条例等についての意見・意識等を把握し、「(仮称)知立市子ども条例」策定のための基礎資料とすることを目的に実施しました。

(2) 調査対象及び調査方法

調査対象	市内の小学校5年生(679人) 中学校2年生(688人) 高校2年生(1,062人) 合計2,429人 市内在住の18歳以上の一般市民 1,000人
調査方法	各小、中、高校への一括依頼、一般市民は郵送
調査時期	平成23年5月

(3) 回収結果

	配布数(票) A	回収数(票) B	回収率(%) B/A
小中高生	2,429	有効回収数 2,297	94.6%
一般	1,000	有効回収数 333	33.3%

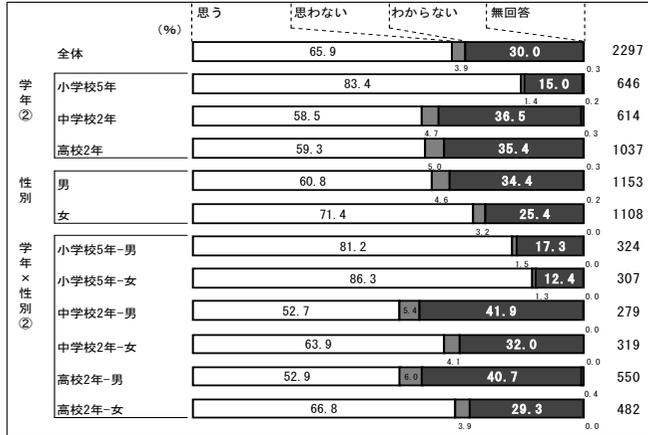
知立市福祉子ども部子ども課

2

2. 結果

問1-① あなたは、大人から大切にされている

- ◆「思う」と答えた人が65.9%、「思わない」は3.9%、「わからない」が30.0%。
- ◆中2男、高2男で「思う」が全体より少ない
- ◆一般市民調査の類似設問(問1①)では、「子ども一人ひとりが尊重される権利を「尊重している」が86.5%となっており、子どもの実態と大人と捉え方に差がみられる。

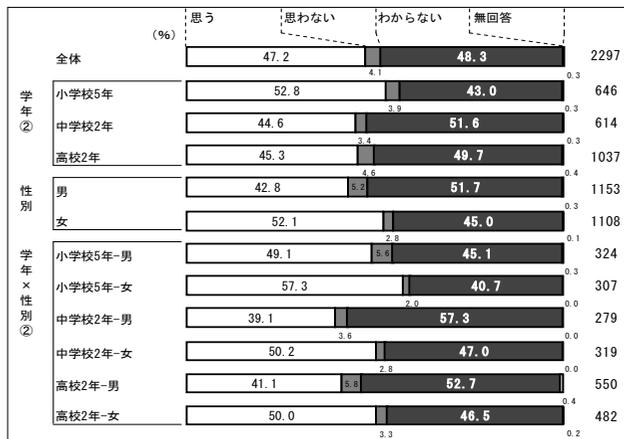


知上市福祉子ども部子ども課

3

問1-② あなたは、まわりの子どもから大切にされている

- ◆「思う」と答えた人が47.2%、「思わない」は4.1%、「わからない」が48.3%。
- ◆中2男、高2男で「思う」が全体より少ない。
- ◆概ね、各学年ともに男子よりも女子で「思う」の割合が高い傾向。

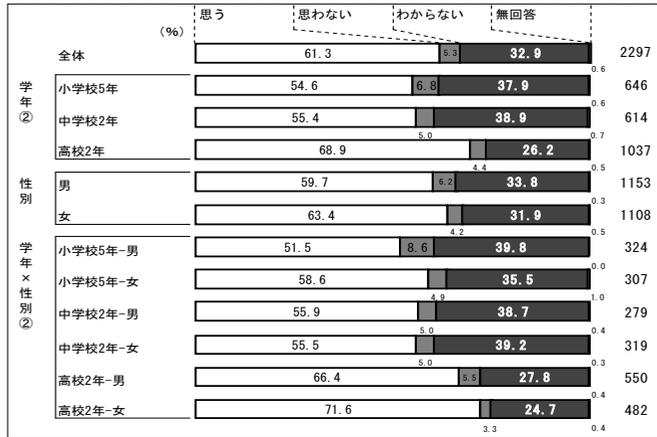


知上市福祉子ども部子ども課

4

問1-③ あなたは、差別を受けていない

- ◆「思う」と答えた人が61.3%、「思わない」は5.3%、「わからない」が32.9%。
- ◆性別で比べると、女子が男子を上回っている。
- ◆一般市民調査の類似設問(問1②)では、子どもが差別を受けない権利を「尊重している」が91.3%となっており、子どもの実態と大人と捉え方に差がみられる。

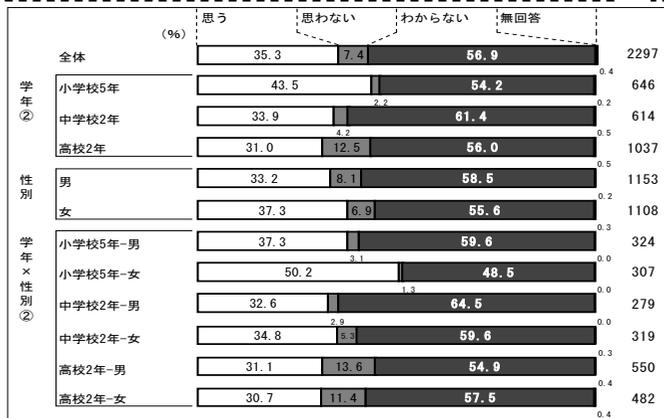


知上市福祉子ども部子ども課

5

問1-④ あなたのまわりでは、何が子どもにとって一番よいかで、ものごとが考えられている

- ◆「思う」と答えた人が35.3%、「思わない」は7.4%、「わからない」が56.9%。
- ◆「わからない」が半数以上。
- ◆一般市民調査の類似設問(問1③)では、子どもにとって一番よいかどうかで物事が考えられる権利を「尊重している」が81.4%となっており、子どもの実態と大人と捉え方に差がみられる。

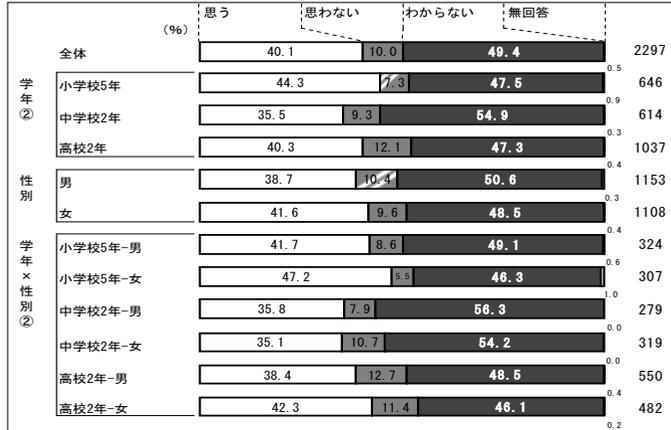


知上市福祉子ども部子ども課

6

問1-⑤ あなたの強く信じていることを否定されない

- ◆「思う」と答えた人が40.1%、「思わない」は10.0%、「わからない」が49.4%。
- ◆「わからない」が約半数。
- ◆一般市民調査の類似設問(問1④)では、子どもが信念を持つ権利を「尊重している」が81.1%となっており、子どもの実態と大人と捉え方に差がみられる。

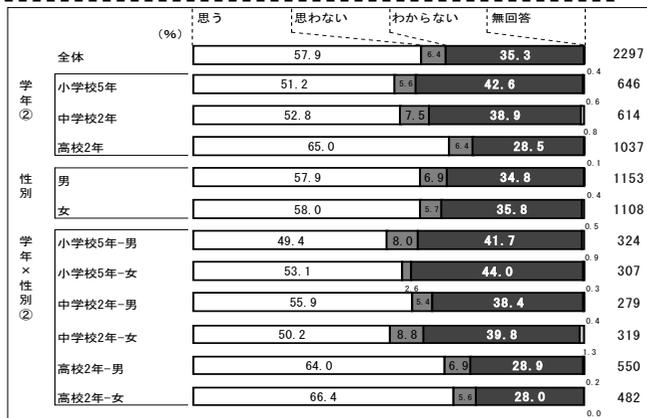


知立市福祉子ども部子ども課

7

問1-⑥ あなたのプライバシーや秘密が守られている

- ◆「思う」と答えた人が57.9%、「思わない」は6.4%、「わからない」が35.3%。
- ◆高校生より小中学生で少ない傾向。
- ◆一般市民調査の類似設問(問1⑤)では、子どもの秘密・プライバシーが守られる権利を「尊重している」が83.2%となっており、子どもの実態と大人と捉え方に差がみられる。

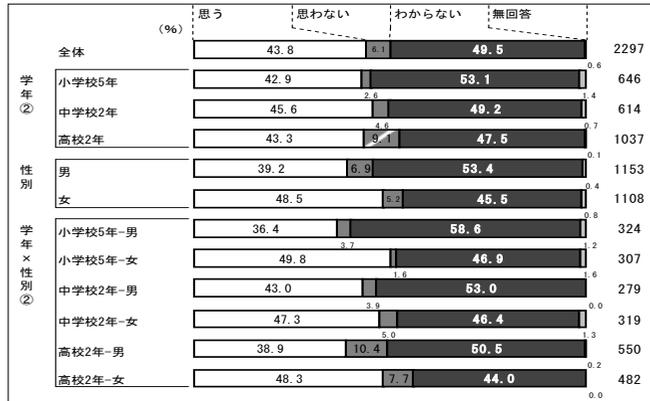


知立市福祉子ども部子ども課

8

問1-⑦ あなたのまわりでは、障がいのある子どもへの対応など、一人ひとりに必要な対応がされている

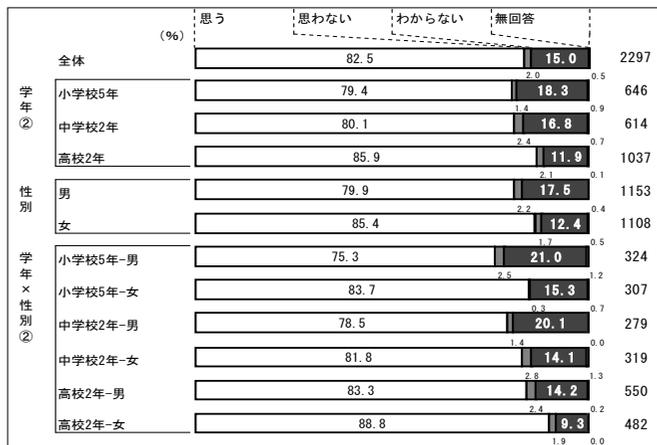
- ◆「思う」と答えた人が43.8%、「思わない」は6.1%、「わからない」が49.5%。
- ◆「わからない」が約半数。
- ◆一般市民調査の類似設問(問1⑥)では、障がいのある子どもが必要に応じた配慮を受ける権利を「尊重している」が89.2%となっており、子どもの実態と大人と捉え方に差がみられる。



知上市福祉子ども部子ども課

問1-⑧ あなたは、健康に暮らす環境が守られ、病気のとときに十分な治療が受けられる

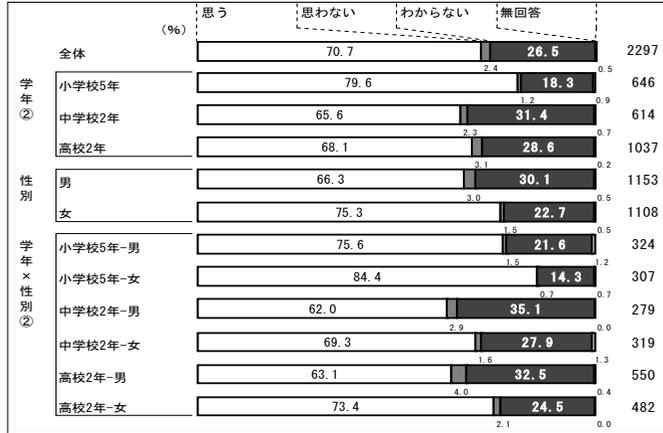
- ◆「思う」と答えた人が82.5%、「思わない」は2.0%、「わからない」が15.0%。
- ◆小5男子、中2男子が、他の層に比べてやや低い。
- ◆一般市民調査の類似設問(問1⑦)では、子どもが健康に暮らし、十分な医療を受ける権利を「尊重している」が93.4%となっており、子どもも大人もともに高い比率。



知上市福祉子ども部子ども課

問1-⑨ あなたは、家族や地域の人たちから愛情をもって育てられている

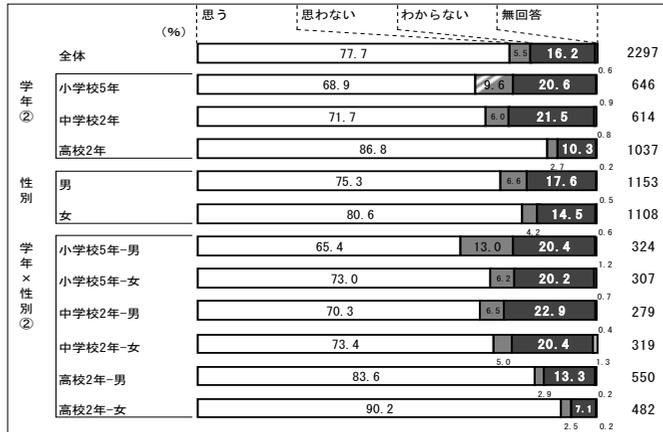
- ◆「思う」と答えた人が70.7%、「思わない」は2.4%、「わからない」が26.5%。
- ◆中2男子、高2男子が、他の層に比べてやや低い傾向。
- ◆一般市民調査の類似設問(問1⑧)では、子どもが家族や地域の人たちから愛情をもって育てられる権利を「尊重している」が91.6%となっており、子どもの実態と大人と捉え方に差がみられる。



知上市福祉子ども部子ども課

問1-⑩ あなたは、いじめ、虐待などを受けていない

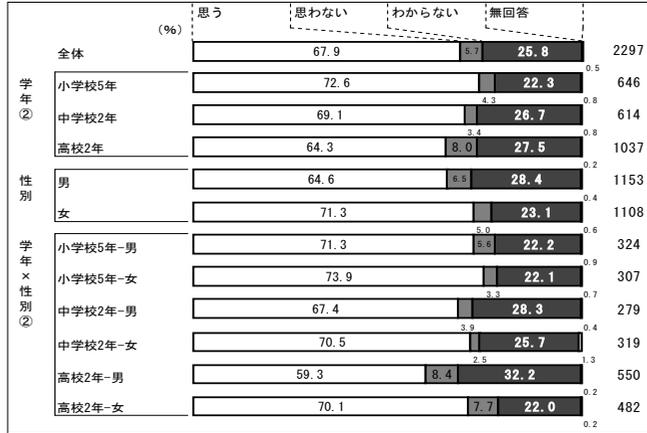
- ◆「思う」と答えた人が77.7%、「思わない」は5.5%、「わからない」が16.2%。
- ◆小5男子の「思わない」が他に比べ高い。
- ◆一般市民調査の類似設問(問1⑨)では、子どもがいじめ、虐待など人権侵害を受けない権利を「尊重している」が91.3%となっており、子どもの実態と大人と捉え方に差がみられる。



知上市福祉子ども部子ども課

問1-⑩ あなたは、犯罪などの悪い環境から守られている

- ◆「思う」と答えた人が67.9%、「思わない」は5.7%、「わからない」が25.8%。
- ◆高2男子の「思う」が他に比べ低い。
- ◆一般市民調査の類似設問(問1⑩)では、子どもが犯罪など悪い環境から守られる権利を「尊重している」が91.9%となっており、子どもの実態と大人と捉え方に差がみられる。

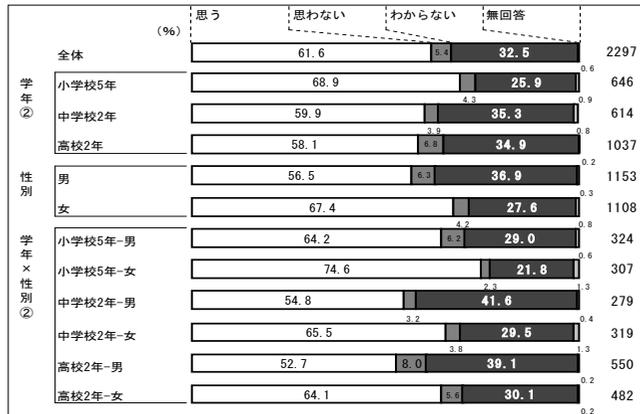


知上市福祉子ども部子ども課

13

問1-⑪ あなたは、いじめ・虐待・犯罪などで困ったときに、すぐに相談したり、助けてもらうことができる

- ◆「思う」と答えた人が61.6%、「思わない」は5.4%、「わからない」が32.5%。
- ◆性別で比べると、女子が男子を大きく上回っている。
- ◆一般市民調査の類似設問(問1⑩)では、子どもが人権侵害にあった場合、速やかに相談・救済・援助が受けられる権利を「尊重している」が89.5%となっており、子どもの実態と大人と捉え方に差がみられる。

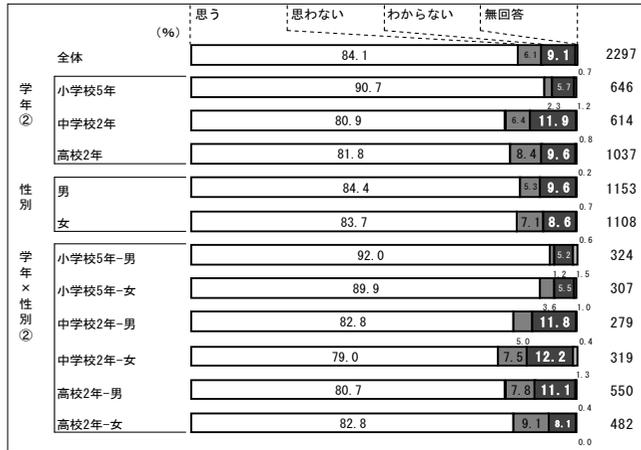


知上市福祉子ども部子ども課

14

問1-⑬ あなたは、体を休めたり、遊んだりする時間がある

- ◆「思う」と答えた人が84.1%、「思わない」は6.1%、「わからない」が9.1%。
- ◆いずれの層も「思う」が高い傾向。
- ◆一般市民調査の類似設問(問1⑫)では、子どもが体を休めたり、遊んだりする権利を「尊重している」が90.7%となっており、子どもも大人もともに高い比率。

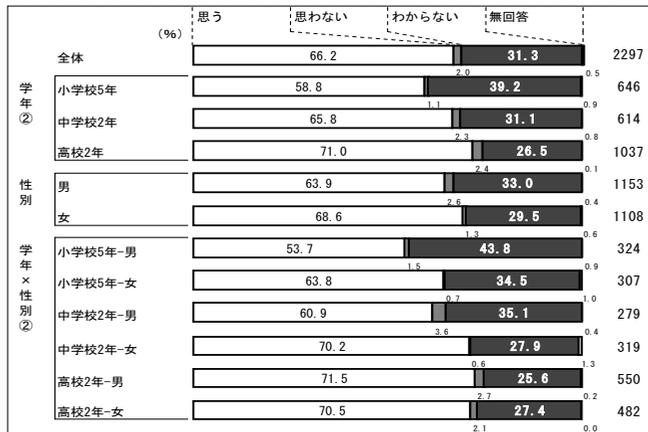


知上市福祉子ども部子ども課

15

問1-⑭ あなたは、心と体の成長に必要な情報を手に入れることができる

- ◆「思う」と答えた人が66.2%、「思わない」は2.0%、「わからない」が31.3%。
- ◆「思う」率は、学年があがるとともに高くなる傾向。
- ◆一般市民調査の類似設問(問1⑬)では、子どもが成長するために必要な情報を得る権利を「尊重している」が88.0%となっており、子どもの実態と大人と捉え方に差がみられる。

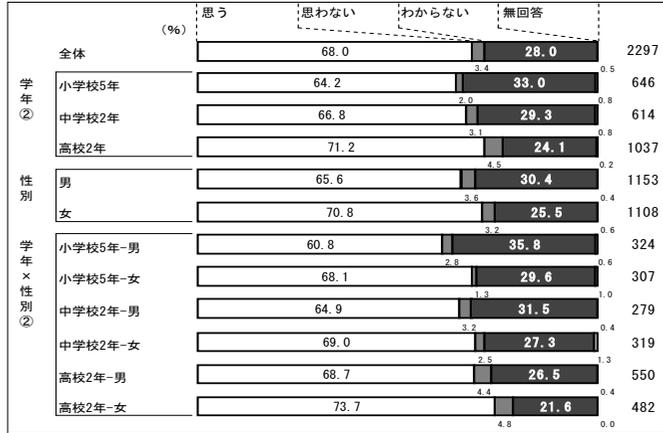


知上市福祉子ども部子ども課

16

問1-⑮ あなたは、興味関心のあることを学べる場所とチャンスがある

- ◆「思う」と答えた人が68.0%、「思わない」は3.4%、「わからない」が28.0%。
- ◆高2女子の「思う」で高い傾向。
- ◆一般市民調査の類似設問(問1⑭)では、子どもが成長する学びの場と機会を利用する権利を「尊重している」が90.7%となっており、子どもの実態と大人と捉え方に差がみられる。

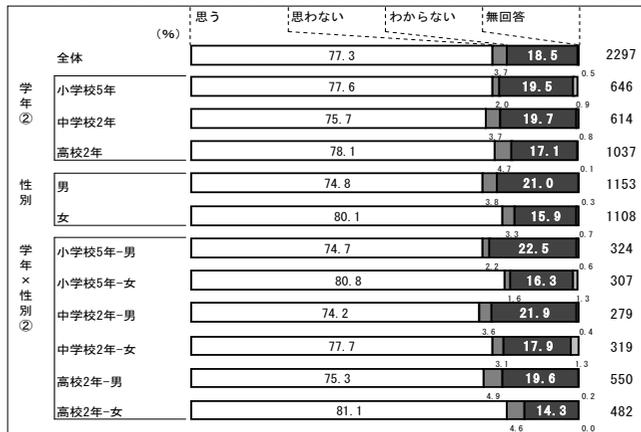


知上市福祉子ども部子ども課

17

問1-⑯ あなたは、同じ目的を持った仲間と活動したり、集まることのできる

- ◆「思う」と答えた人が77.3%、「思わない」は3.7%、「わからない」が18.5%。
- ◆全ての層の「思う」で高い傾向。
- ◆一般市民調査の類似設問(問1⑮)では、子どもが団体をつくったり、集会を開いたりする権利を「尊重している」が61.3%となっており、問1の17項目の中で、唯一、子ども(「思う」率)が大人(「尊重している」率)を上回っている。

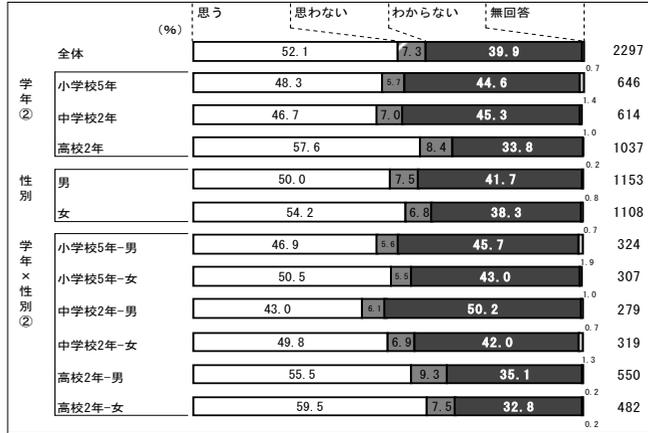


知上市福祉子ども部子ども課

18

問1-① あなたは、自分に関係のあることについて自由に意見が言える

- ◆「思う」と答えた人が52.1%、「思わない」は7.3%、「わからない」が39.9%。
- ◆中2男子、小5男子の「思う」で、全体に比べて低い傾向。
- ◆一般市民調査の類似設問(問1⑩)では、子どもに関係することについて自分の意見を表明する権利を「尊重している」が79.6%となっており、子どもの実態と大人と捉え方に差がみられる。

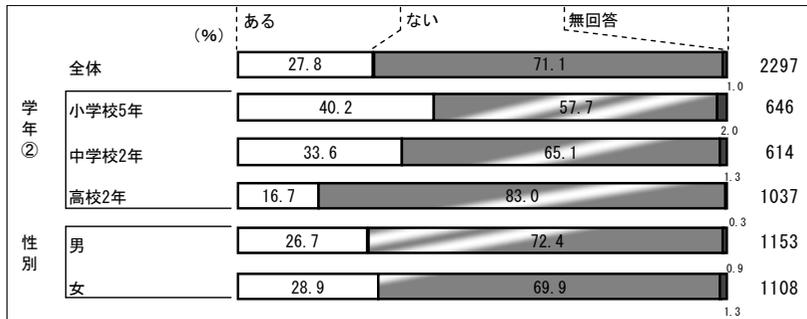


知上市福祉子ども部子ども課

19

問2-① より良い学校づくりや地域づくりについて、自分の意見を言ったり、具体的な活動をしたことがありますか？

- ◆「ある」と答えた人が27.8%、「ない」と答えた人は71.1%。
- ◆学校づくりや地域づくりに積極的な関わりを持っていない子どもたちが多い状況。

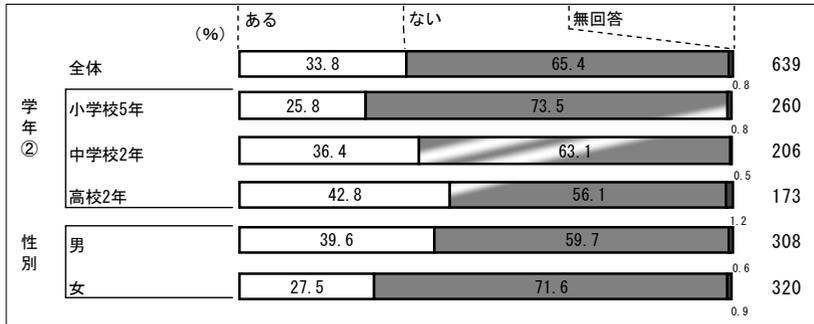


知上市福祉子ども部子ども課

20

問2-② 自分の意見を言ったり活動をしたりするときに、反対されたりじゃまされたりしたことがありますか？

- ◆「ある」と答えた人が33.8%、「ない」と答えた人は65.4%。
- ◆学年が上がるとともに「ある」が高くなる傾向。

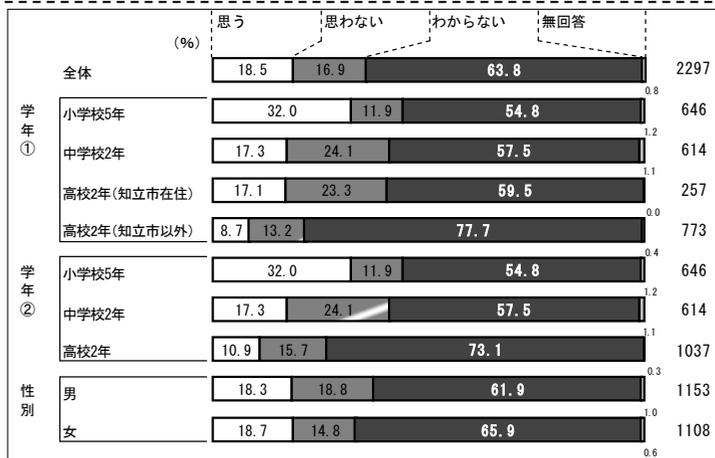


知立市福祉子ども部子ども課

21

問2-③ 知立市は、子どもの意見や考えを聞いてまちづくりをすすめていると思いますか？

- ◆「思う」と答えた人が18.5%、「思わない」と答えた人は16.9%。
- ◆「わからない」が63.8%と高い比率。



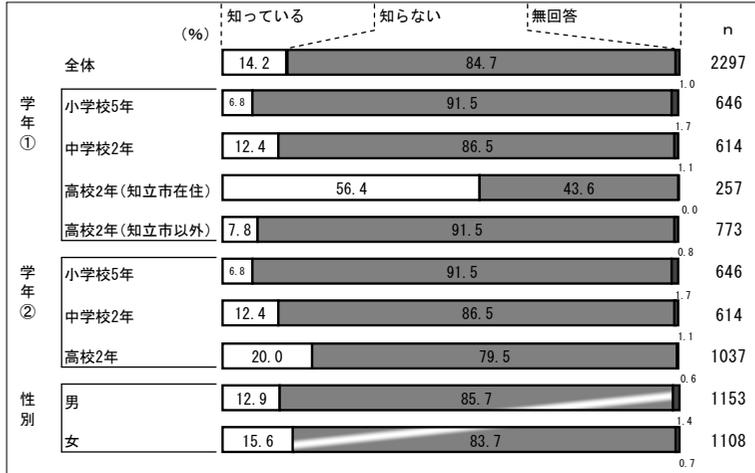
知立市福祉子ども部子ども課

22

問2-④ 子ども議会を知っていますか？

◆「知っている」と答えた人が14.2%、「知らない」と答えた人は84.7%。

◆案内・実施実績のある市内在住の高2のみ高い比率。



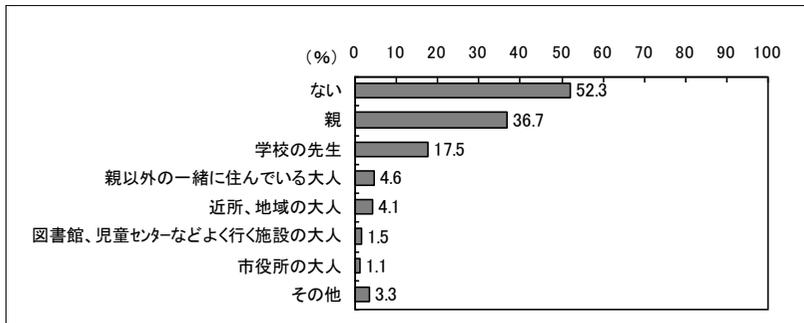
知立市福祉子ども部子ども課

23

問3-① 「友人関係」に関して、手助けして欲しい大人は？

◆「ない」と答えた人が52.3%、次いで「親」、「学校の先生」。

◆一般市民調査の類似設問(問2①)では、「親」(84.7%)、「学校の先生」(72.1%)、「近所、地域の大人」(56.5%)が上位にあげられている。

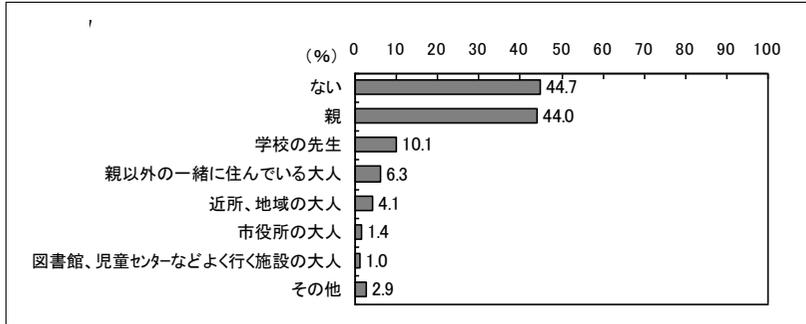


知立市福祉子ども部子ども課

24

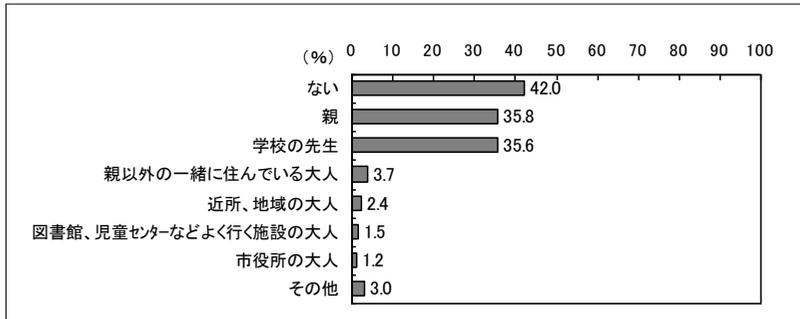
問3-② 「家庭生活」に関して、手助けして欲しい大人は？

- ◆「ない」と答えた人が44.7%、「親」と答えた人が44.0%。
- ◆一般市民調査の類似設問(問2②)では、「親」(93.7%)、「親以外と一緒に住んでいる大人」(70.3%)、「近所、地域の大人」(57.4%)が上位にあげられている。



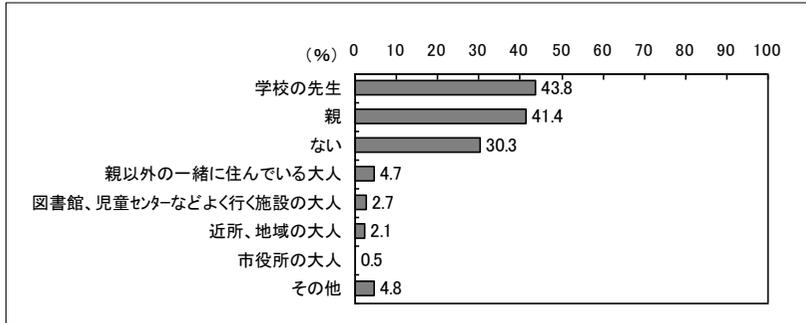
問3-③ 「学校生活」に関して、手助けして欲しい大人は？

- ◆「ない」と答えた人が42.0%、次いで「親」、「学校の先生」。
- ◆一般市民調査の類似設問(問2③)では、「学校の先生」(92.2%)、「親」(82.6%)、「親以外と一緒に住んでいる大人」(45.3%)が上位にあげられている。



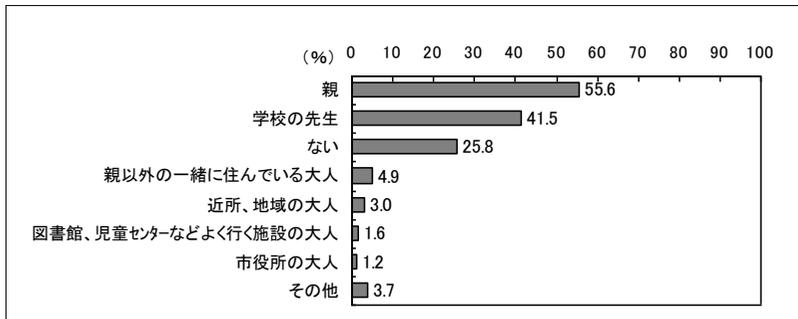
問3-④ 「勉強」に関して、手助けして欲しい大人は？

- ◆「学校の先生」と答えた人が43.8%、「親」と答えた人が41.4%。
- ◆一般市民調査の類似設問(問2④)では、「学校の先生」(89.5%)、「親」(87.4%)、「親以外と一緒に住んでいる大人」(50.5%)が上位にあげられている。



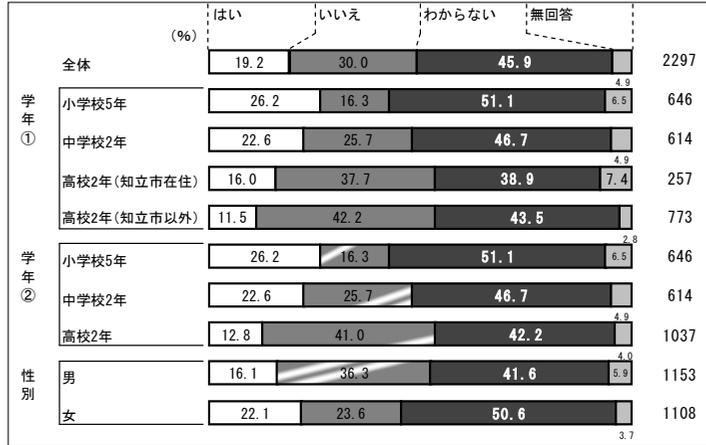
問3-⑤ 「進路・進学」に関して、手助けして欲しい大人は？

- ◆「親」と答えた人が55.6%、「学校の先生」と答えた人が41.5%。
- ◆一般市民調査の類似設問(問2⑤)では、「親」(91.0%)、「学校の先生」(89.5%)、「親以外と一緒に住んでいる大人」(48.0%)が上位にあげられている。



問4 「(仮称)知立市子ども条例」をつくることに関して、関心がありますか？

- ◆「はい」と答えた人が19.2%、「いいえ」と答えた人が30.0%。
- ◆中高生で、「はい」より「いいえ」の方が高い。
- ◆「わからない」が全体の約半数を占めている。



知立市福祉子ども部子ども課